

5年生のもちつきが復活した。コロナ禍に休止していた行事の一つだ。もちつきには、大人の力は欠かせない。前日までの準備、当日の仕事、担任と子どもだけでは回せない。教頭先生やCS 推進員さんのバックアップはある。それでも足りない▼頼みは、保護者や家族のみなさん。たくさんの方に来ていただいたおかげで、もちつきはテキパキと進んだ。ありがとうございました。子どもたちは、もちつきの体験をしながら、つきあがったもちの味付け作業をがんばった。きなこ・抹茶・みたらし・ピザポテト、味付けは自分たちで決めた。他の学年のお友達には、きなこのおもちがふるまわれた▼サッカー選手の三浦和義さんから、サッカーボールをいただいた。昨日全校に披露して、さっそく朝のサッカー少年たちがそのボールを使って、楽しんだ。大谷選手にいただいたグローブとともに、使いたい子がいつでも使えるように保管場所が決めてある▼4年生の教室を覗いてみると、新出漢字の勉強をしていた。読み方や意味、部首や画数、熟語をみんなで確かめて、空書きをしたあと、自分のドリルに練習する。書き始めた途端、一瞬にして教室が静まり返った。鉛筆の音だけが聞こえる▼2年生の教室では、タブレットを持って、グループで何やら作っている。ワイワイガヤガヤ……。こんな日常がいつまでも続きますように。そう思った、1月17日。